

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	少年補導センター運営事業			610106	担当課	生涯学習課		
	開始年度	昭和47(1972)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	238	頁		
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-			
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	福知山市少年補導センター条例			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	巡回指導などにより、青少年の非行防止と健全な生活を確保し、誰もが安全安心に暮らせる地域を目指す。							
	対象者	青少年、市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.07			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	街頭補導活動(官公庁の閉庁日を除く毎日)、特別補導活動(暴走族対策)(2回/年)、列車補導活動(1回/年)、社会環境浄化活動、啓発活動(3回/年)、相談活動							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		報酬		少年補導センター運営委員会委員報酬			64		
報償費		補導員謝礼			922				
旅費		職員旅費、研修旅費			4				
需用費		活動冊子作成、消耗品費(用度物品、啓発物品)			173				
役務費、使用料及び賃借料		通信運搬費71、使用料及び賃借料2			73				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		1,925	1,598	1,492			
		補正予算等・・・②		551	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		2,476	1,598	1,492			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/1.26	0.05/1.26	0.05/1.26	/		
概算人件費・・・④		3,550	3,550	3,550					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,026	5,148	5,042				
執行状況	執行額・・・⑥		1,966	1,236					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		79.4%	77.3%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		街頭補導活動に対する注意助言件数の割合	%	11/ 30	8.9/30	/ 30	30		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		少年補導委員による少年補導活動回数	回	298/330	308/330	/330	330		
		単位あたりコスト		6.6	4.0				
				/	/	/			
単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・ほぼ毎日活動される街頭補導活動は、犯罪の未然防止活動として必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・街頭補導活動は、ほぼ毎日昼間・夜間に3～5人体制で取り組んでおり、適時・適地に効率的に実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、近年の傾向による目標としており、一定、理にかなったものと言える。ただ、最近、極端に注意助言する件数が減少している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ●街頭補導活動回数に対する注意助言件数の割合が目標の30%より、大きく下回ったことは、日々の活動によることであり高く評価できる。 ●各ブロックの補導委員により地域の状況に応じた活動が展開されている。 ●街頭補導では交通ルール違反、喫煙など身近な指導から、非行の芽を摘む活動が実践できている。 ●福知山市における青少年補導件数(福知山警察署発表)の過去5年間平均値850人を指標とする場合、近年の状況は60～70%と良好に推移することも健全育成活動の評価として適切である。 	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●福知山市中心地域の補導活動だけでなく、周辺地域(中学校区ごと)などの補導活動の工夫と強化。 ●組織拡大による補導委員相互の連携強化と補導員の育成。 ●相談活動や環境浄化活動の充実と保護司会等の関係機関との連携強化。 		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭活動・啓発等の実施場所や方法等は、前例踏襲ではなく見直しされ、より効率的・効果的な実施を行ってください。 ・相談件数が0件であることは、その周知方法等検討の必要があると思います。最近ネットやSNSによるいじめや犯罪が多い中で、個別での相談・指導件数が増えないのであれば、実施方法の検討をおこなってください。 ・非行を行う少年のメンタルフォローというみで、非行に至る前に相談ができる仕組みも検討してほしい。 ・今後は、補導委員さんも高齢化しているということなので、それぞれの地域だけを対象とするのではなく、交流しながらみんなで幅広い地域をカバーし合うといった工夫をしながら巡回活動を行っていただきたい。 ・センターの運営委員や補導員の方々が、ほぼ毎日の補導活動等に従事し精力的に活動していただいているが、活動内容や活動実績の冊子の内容等、従来の取組からの工夫や発展性に欠けると感じる。補導活動についても、情報機器の発達等により近年の青少年犯罪はより低年齢化し、また、潜伏化しており、街頭や列車等での補導活動が変わらず効果を発揮するかは大きな疑問である。センターの運営について、以下の項目について運営委員会等での協議をお願いしたい。 ・活動実績冊子「補導だより」の内容の工夫(感想よりも青少年や家庭への啓発等が重要ではないか) ・相談活動の工夫(H29年度実績0・学校との更なる連携等) 		
	三次評価(外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	旧勤労青少年ホーム施設管理事業			610115	担当課	生涯学習課	
	開始年度	昭和50(1975)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	240	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-		
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	教育施設及び行政施設の一部として適正な維持管理を行う (けやき広場、文化・スポーツ振興課文化財保護係の整理事務所)						
	対象者	けやき広場等利用者	対象者数	50	一人当たりコスト	80.80		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 小谷商事、アムス警備保障、シルバー人材センター						
	事業概要	勤労青少年ホームの設置目的は達成されたとして平成25年度で閉鎖。平成26年度から旧勤労青少年ホーム施設管理事業に移行。施設の適正な維持管理を行う。 文化財保護事務、けやき広場(適応指導教室)、社会教育関係(婦人会、保護司会)関連の施設として運営している。文化財保護事務は平成30年度からは本庁で実施(整理作業は継続)。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		消耗品費、光熱水費、施設修繕			2,045	
役務費		通信運搬費、手数料、建物共済保険			234			
委託料		設備保守点検、警備業務、施設清掃業務			706			
使用料及び賃借料		NHK受信料			15			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		3,667	3,278	3,169		
		補正予算等・・・②		△ 9	△ 278	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		3,658	3,000	3,169		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.13/0	0.13/0	0.13/0	/	
概算人件費・・・④		1,040	1,040	1,040				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,698	4,040	4,209			
執行状況	執行額・・・⑥		3,608	3,000				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.6%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		けやき広場利用者(相談室)	件	763/600	833/600	/600	500	
		埋蔵文化財包蔵地問合わせ	件	347/300	337/300	-	-	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		維持管理保守(周辺除草・点検)	回	18/20	15/20	/20	10	
		単位あたりコスト		200.4	200.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・適正な施設管理を行う上で必要である
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・必要最小限の維持管理費で実施
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・適正な施設管理を行う上で一定有効である
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	社会教育、学校教育の推進と振興を進める施設の利用目的に沿った管理を適正に行っている。 (定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	平成25年度に勤労青少年ホームにかかる条例を廃止し、現在、教育施設として管理している。本施設は、設置から43年経過し、老朽化が進み毎年修繕費が増加傾向となっている。今後の施設の方向性(廃止も含め)を検討する		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・耐震ができてないのは不安 ・学校教育課と費用負担の整理をしてはどうか、その中で施設全体の方向性を定めてはどうか ・学校教育課と連携し、早期にけやき広場の移転先の検討をしてください。 ・移転先の候補地は、その目的に沿ったところか、維持管理に係る費用等検討・比較し、判断すべきと考える。 ・旧勤労青少年ホームは、けやき広場の所在地としてはよい場所であるが、建物自体の耐震や維持管理費用、公共施設マネジメント実施計画の視点から見るとあり方を考える必要がある。 ・公共施設マネジメントにおいても「(仮称)教育支援センターが移転後に廃止」と計画されており、また、本施設の管理に関する条例も廃止済みであり、関係課との調整を出来るだけ早期に進める必要がある。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	青少年健全育成事業			610204	担当課	生涯学習課	
	開始年度	昭和28(1953)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	240	頁	
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-		
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	地方青少年問題協議会法、福知山市青少年問題協議会条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	家庭と地域・学校が連携しながら、市民総がかりで次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、社会の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参加できる人材を育成する。						
	対象者	市の将来を担う子ども達	対象者数	6,500	一人当たりコスト	0.50		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	青少年問題協議会の運営(年1回) 青少年健全育成大会の開催(年1回) 「青少年を非行から守り健全に育てる運動」等の啓発活動						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報酬		青少年問題協議会委員報酬			48	
報償費		青少年健全育成大会出演者謝礼、			8			
需用費		表彰記念品、看板作成等			46			
役務費		通信運搬費			82			
負担金補助及び交付金		福知山更生保護協会補助金			113			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		467	436	273		
		補正予算等・・・②		△ 61	△ 83	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		406	353	273		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.42/0.14	0.32/0.14	0.32/0.14	/	
概算人件費・・・④		3,710	2,910	2,910				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,116	3,263	3,183			
執行状況	執行額・・・⑥		343	297				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		84.5%	84.1%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		青少年補導件数	人	677/850	568/850	/500	850	
		健全育成大会参加者数	人	180/300	170/300	/300	300	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		健全育成大会開催	回	1/1	1/1	/1	1	
		単位あたりコスト		343.0	297.0			
単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の力で次代を担う青少年の健全育成は自治体の大きな課題であり、必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト的に活動内容にあった運営となっている
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・活動実績、成果実績は、概ね達成できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年のインターネットに関わる犯罪などが大きな問題となっており、各関係団体や携帯会社、幼稚園、小・中学校、高校など児童・生徒や保護者へ普及啓発活動を行った。 ●健全育成大会においても、各学校の取り組み事例発表や、青少年を取り巻く犯罪防止の講演を行うことで、各関係団体が現代的な課題について共通認識を持てる場となっている。 ●福知山市における青少年補導件数(福知山警察署発表)の過去5年間平均値850人を指標とする場合、近年の状況は60～70%と良好に推移することも健全育成活動の評価として適切である。 	
	今後の課題及び方向性	<p>青少年を取り巻く問題などは、日々変化するため、常に現状を把握し、現状にあった課題・対応策を青少年問題協議会の意見を踏まえ啓発活動などを実施し、青少年の健全育成活動を促進する。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <p>・「青少年の健全育成」の健全とは、どのような定義か？ → 成果は何に表れるのか？ ⇒ 明確に意識して進めるべき ・指標として、少年犯罪の発生率、補導、注意の件数等を明記しておくこと → ただし、この事業の結果として直接的な効果を表すものではないことを踏まえること ・大人向けなのか、子ども向けなのか、どれだけアプローチが図られているのか、目的と実績を具体化すること ・少年犯罪は減少、本市における事案もかつてより少ない(一万引き、自転車の窃盗で年20件)とのこと。ならば存続の必要があるか？と問われている。 ・子どもに何人、何回接触しているか？(活動指標)を通じて、子どもの意識にどう影響を与えているかを測るべき(Outcome) ・補助金交付先の事業に対する補助率1/2になっているか。高率であれば見直しを。 ・補助金については一旦休止となっているが、成果がでるような組立てを。 ・「青少年健全育成」というのがわかりづらい</p>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p style="text-align: center;">内 容</p>		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	成人式事業			610301	担当課	生涯学習課		
	開始年度	昭和26(1951)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	240	頁		
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	-			
	施策名	健全育成体制を充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	青年が次代を担う者としての自覚を高め、社会の一員としての意識を養い、自己の確立に努めることを基本方針とし、その方針を具現化するために成人の日の前日に式典を挙行し、参集した新成人を祝い、激励する。次代を担う新成人を保護者、地域が認め、大人の仲間として受け入れる。							
	対象者	新成人	対象者数	800	一人当たりコスト	3.93			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)フォールズ(警備)、Crew・Solook(音響・照明)、(株)街装社(会場設営)							
	事業概要	成人式の開催 平成30年1月7日(日)開催 三段池公園総合体育館 出席者:667人 内容 高校生による司会進行、新成人の主張、メッセージ集の作成・配布、市内各高校ボランティアによる式典運営協力							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		報償費		成人式協力団体謝礼			40		
		需用費		記念誌印刷製本、看板作成等			194		
役務費		通信運搬費			73				
委託料		警備委託料、音響・舞台照明・設営業務、バス運転代行			371				
使用料及び賃借料		会場使用料、機器借上げ料			303				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		1,308	994	986			
		補正予算等・・・②		△ 195	△ 8	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		1,113	986	986			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.26/0.03	0.26/0.03	0.26/0.03	/		
概算人件費・・・④		2,155	2,155	2,155					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,268	3,141	3,141				
執行状況	執行額・・・⑥		995	981					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		89.4%	99.5%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		出席者の割合	%	88.9/100	83.6/100	/100	100		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		成人式開催	回	1/1	1/1	/1	1		
		単位あたりコスト		995.0	981.0				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・成人式は、全国的にも定着している事業であり必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・運営にあたっては、高校生ボランティアの募集、アトラクションも近隣高校に協力いただくなどコスト削減に努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・活動実績、成果実績とも概ね達成している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ●平成18年度から三段池公園総合体育館で実施し、平成29年度は、体育館が改修のため、厚生会館にて実施した。多数の参加で厳粛な中にも祝意をこめた成人式となっている。平成29年度は、三段池公園総合体育館へ戻り実施した。大きなトラブルもなく実施できたことは評価できる。 ●近年の記念品の持ち帰り状況や近隣市の実施状況を考慮して、平成29年度から記念品を廃止した。 	
	今後の課題及び方向性	<p>継続的に事業実施を進め、新成人を祝うとともに激励し、自覚を促す。 市在勤、在住、出身の新成人が一同に介する機会であるので、若者の意識、考え方を聴取する手法を検討する。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者に満足度などのアンケートを実施してはどうか ・式典の内容やスタッフ、記念品等、実施方法を精査して、低コストで開催できるよう工夫されているのがすばらしいと感じた。 ・成人式は、多くの若者が一同に集まるよい機会なので、リターンを促せるように市内の就職先の紹介ブースを設けたり、記念誌に市内店舗の有料広告を掲載する等さらに充実されるとこの事業の有効性も高まると思う。 ・全庁的に協力して、この成人式をチャンスとして活かせるような催しやブース展開等をできないか前向きに検討してほしい。 ・本事業は、新成人はもちろん、その保護者にとっても大きな意味がある事業として位置づけられ、出席率の高さからも考えられるように、必要性は高い。 ・福知山に縁のある若い世代が帰ってくるこの機会は、将来の福知山市のために市をアピールする絶好の機会。成人式としての本来の趣旨を崩さない範囲で、他事業と協力できる部分は積極的に実施していただきたい。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	